

平成27年12月2日

**東北植物学会公開シンポジウム  
「福島第一原子力発電所事故による放射線が与えた野生生物への影響」**

福島第一原子力発電所事故による放射線が与えた野生生物への影響に関する科学的な知見を、地元の福島県に普及する目的として、東北植物学会第5回大会（福島大会）公開シンポジウム「福島第一原子力発電所事故による放射線が与えた野生生物への影響」を開催します。

東北植物学会第5回大会（福島大会）（後援：福島大学，福島県教育委員会）が行われるのにあわせて、公開シンポジウム「福島第一原子力発電所事故による放射線が与えた野生生物への影響」（後援：福島大学環境放射能研究所）を開催します。

これまでに行われてきた放射線が与えた野生生物への影響についての学術報告や報道には、科学的な根拠やデータの解釈に妥当性を欠くものも数多く含まれます。その一方で、放射線の影響を正しく捉えていると考えられる高線量地域における事例も、少しずつ報告されるようになってきました。そこで本シンポジウムでは、これまでの報告について取り上げ、野生生物における放射線の影響についての科学的な理解を深めたいと考えています。

○日 時：平成27年12月19日（土）14：00～15：55

○場 所：福島大学共通講義棟L4教室

※東北植物学会サイト <http://tohokubs.sakura.ne.jp/>

（お問い合わせ先）

共生システム理工学類教授 黒沢高秀

電話：024-548-8201

メール：[kurosawa@sss.fukushima-u.ac.jp](mailto:kurosawa@sss.fukushima-u.ac.jp)

# 福島第一原子力発電所事故による

# 放射線が与えた野生生物への影響

## 本シンポジウムの目的と概要

これまでに行われてきた放射線が与えた野生生物への影響についての学術報告や報道には、科学的な根拠やデータの解釈に妥当性を欠くものも数多く含まれます。その一方で、放射線の影響を正しく捉えていると考えられる高線量地域における事例も、少しずつ報告されるようになってきました。そこで本シンポジウムでは、これまでの報告について取り上げ、野生生物における放射線の影響についての科学的な理解を深めたいと考えています。

## プログラム

14:00～14:05

「シンポジウム開催にあたって」

黒沢高秀（福島大学共生システム理工学類）

14:05～14:35

「福島第一原発の周囲での野生生物の影響調査」

渡辺嘉人（放射線医学総合研究所）

14:35～15:05

「高線量地域における

アブラムシ類の形態変化の年間、地域間変動」

秋元信一（北海道大学農学研究院）

15:05～15:35

「クローナル植物モウソウチクを用いた

低線量放射線の遺伝的影響評価」

兼子伸吾（福島大学共生システム理工学類）

15:35～15:55

総合討論

日時：2015年12月19日（土） 14:00～15:55

会場：福島大学共通講義棟L4教室

（〒960-1296 福島県福島市金谷川1）

**参加無料・予約不要**

主催：東北植物学会第5回大会準備委員会

問い合わせ先：福島大学共生システム理工学類 黒沢高秀

e-mail:kurosawa@sss.fukushima-u.ac.jp Tel:024-548-8201



### アクセス

- JR東北本線金谷川駅より徒歩約10分。
- お車の方は、正門ゲートでシンポジウム参加の旨をお伝え下さい。